

キエリボウシインコ

キエリボウシインコの「タロウ」
—写真—は野菜や果物、インコ用のペレット、ひまわりの種などを食べていて、くちばしを器用に、上手に使います。

例えば、ひまわりの種はくちばしで外側の殻を割り、中の種だけを食べます。リンゴやニンジンなどは一度にすべてを口に入れるのではなく、くちばしで削るようにして少しずつ食べます。

そんな器用なくちばしをもつタロウですが、動物園での餌は野生で食べているもの比べるとやはりバリエーションが乏しく、同じようなくちばしの使い方になってしまします。

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園

そこで、最近餌の切り方を工夫して与えてみます。1個の塊で与えるのではなく細かく切ってみた

餌の切り方にもバリエーション

り、きれいな四角形ではなく、ふぞろいな形にしてみたり。色々な形のものを与えることで、同じ餌でも食べる楽しみが増すのではないかなと期待しています。タロウが餌を食べているときは、どうやっているのか観察してみてくださいね。

(キエリボウシインコ担当 笹田和樹)

